



防災特集

自助が命を守る

発災時に、助けが来るまでに、
“自分と家族”を守れますか？

災害はいつ起こるかわかりません。防災は、日常の延長線上にあります。自分と家族の命を守るため、「防災」を意識した生活を送りましょう。訓練を通して防災を学び、実践することで、自分自身を守れるようになります。一人ひとりができることを、今日から始めましょう。今回はうるま市消防団副団長に消防団員としての活動や、防災への想いを聞きました。

地域と未来を守る、熱い仲間がうるま市消防団にはいる！

私たち消防団は、大切な人や地域を自分の手で守りたいという熱い思いで活動をしています。いざという時のため、月に1回程度集まって救命や防災を学んでいます。そうそう、消防団では災害訓練だけでなく、防災知識を学ぶ機会があるんです。正しい知識を得ることで、災害時に冷静で正しい判断ができるようになり、結果として自身や大切な人を守ることに繋がります。まずは身を守ること、これこそ一番の「防災」になるんですね。また、消防団には若い世代も多く横のつながりもできますよ。



うるま市消防団副団長
國場 正剛氏

うるま市消防団員募集中！

うるま市消防団で、一緒に地域を守りませんか？
お問い合わせ: 098-975-2006
(消防本部 警防課)